

- 卓球 令和5年度島根県高等学校新人卓球大会
- 卓球 第52回後藤杯卓球選手権大会
- 女子バスケ 県選手権 第3位
- 男子バスケ 県選手権大会
- 女子バレー 島根県高等学校選手権大会
- 珠算・電卓 島根県大会優勝
- サッカー 選手権ベスト8
- 野球 フレッシュトーナメントベスト4

- 野球 高津川流域の清掃ボランティア活動を実施
- 陸上 令和5年度島根県高等学校新人陸上競技大会
- 柔道 新人戦 ●軽音楽 みとふるさとまつりで演奏
- 吹奏楽 地元での演奏会を実施
- 1年生遠足／2年生研修旅行／3年生遠足／
セブ島4泊5日研修旅行／校内弁論大会・芸術鑑賞
- 文化祭／福祉科だより／通信制課程ニュース
- 贈呈式／Mチル完成

vol.69

発行／明誠高等学校

2023年(令和5年) 11月27日(月曜日) 第69号

<https://www.meisei-masuda.ed.jp/>

NEW
MEISEI
HIGH SCHOOL



卓球
令和5年度島根県高等学校
新人卓球大会

10月27日～29日まで松江市で令和5年度島根県高等学校新人卓球大会が開催された。女子学校対抗では全8試合で1ゲームも落とすことなく完全優勝、23年連続30回目のメモリアル優勝で先輩からの伝統をつなぐことができた。男子は4位で今年も男女揃って12月に岡山で開催される中国選抜大会に出場が決定した。女子シングルスでは東ゆめ(益田①)が優勝、北代寿珠(益田②)が2位、山田彩心(益田②)と南雲日花(益田①)が3位でベスト4を独占、9名がベスト16に入賞した。男子シングルスでは主力の塩田祐己(玖珂②)と無量谷壮二郎(深川②)がベスト16に入った。



女子学校対抗 優勝

女子シングルス1位から4位を独占

サッカー
Meisei High School
SINCE 1951
選手権ベスト8

3年生最後の大会となる選手権大会が行われた。「インターハイ」ではベスト8ということ、この結果を超える為に、3年生を中心に様々な準備をしてきました。結果は同じくベスト8となりました。思うような結果とはなりませんでしたが、3年生が残してくれたものを1・2年生はしっかりと引き継いでいきたいと思います。たくさんの方の応援ありがとうございました。」と監督・スタッフは大会を振り返った。



野球
Meisei High School
SINCE 1951
フレッシュ
トーナメント
ベスト4!!

野球部の1年生は10月7日・8日に行われた、石見地区フレッシュトーナメントに出場した。チームを指揮した顧問は、「大会を通して、1年生の底力とポテンシャルの高さを感じることができた。今後の成長が非常に楽しみである。」と述べた。

- 1回戦・Aチーム 勝利
- 明誠 8-3 大田
- 1回戦・Bチーム 勝利
- 明誠 0-5 益田東B
- 2回戦・Aチーム 負け
- 明誠 15-9 矢上
- 準決勝・Aチーム 勝利
- 明誠 4-9 石見智翠館B



卓球
Meisei High School
SINCE 1951
第52回後藤杯
卓球選手権大会

令和5年9月15日から17日、愛知県名古屋市内で第52回後藤杯卓球選手権大会(名古屋オーブン)が開催された。島根県代表として一般、ジュニアの部に明誠高校、明誠U15、SHIPスポーツの明誠グループから22名が参加した。女子ジュニアシングルスで東ゆめ(益田①)が全国の強豪を次々と破り、準優勝を果たした。今後、全国高体連新人合宿や全日本選手権での活躍が期待される。



女子ジュニア 準優勝 東さん

バスケットボール
Meisei High School
SINCE 1951
県選手権
第3位

10月20日～22日の準決勝まで、カミアリーナで県選手権が開催された。「優勝を目指して臨んだが、第3位という悔しい結果となった。だが、ここに来るまで決して楽な道ではなかったことを考えると、このチームは主将を中心として結束が固く、何より本当に良い雰囲気での大会に挑むことができたのは、目標の共有ができて、且つ一人ひとりの意志が強かったからだと思う。3年生の頑張りを心から称えたい。」と部顧問は振り返った。

- 2回戦 : 対 松江西 98-32 勝ち
- 準々決勝 : 対 松江南 94-41 勝ち
- 準決勝 : 対 松徳学院 57-78 負け
- 結果 第3位
- ベスト5 中島愛璃(小野中)



円陣を組む部員たち



3位になった女子バスケットボール部

高津川流域の
清掃ボランティア
活動を実施

野球部は、10月28日にNPO法人アンダンテ21様のご協力の下、高津川流域の清掃活動を行った。今後も高津川という身近な自然環境の保全・維持活動に貢献していきたい。」と参加した野球部員は感想を述べた。



陸上
Meisei High School
SINCE 1951
令和5年度島根
県高等学校新人
陸上競技大会

9月16日～17日まで益田市で令和5年度島根県高等学校新人陸上競技大会が開催された。男子4×100mRと女子100mHが3位に入賞し、中国高等学校新人陸上競技対抗選手権大会の出場権を得た。また、男子は1年100mでは3人が入賞し、男子1500m・4×400mR・砲丸投・円盤投で、女子は1年100m・走高跳・砲丸投・円盤投・やり投でそれぞれ入賞を果たした。



4×100m リレーメンバーたち

男子バスケットボール
Meisei High School
SINCE 1951
県選手権大会

10月の19日から出雲のカミアリーナで県選手権が行われた。結果は益田高校に57対43で負けた。顧問は、「3年生は自分の進路の事や、学習で時間のなかなかりにくい中で、日々の練習に励んだように思う。新チームでも何事においても真摯に向き合う姿勢や、規律、向上心を大事にして頑張っていた。」と述べた。



柔道
Meisei High School
SINCE 1951
新人戦

10月21日・22日に島根県武道館に於いて新人柔道大会が行われ、男子団体は3位に入賞し、11月18日から岡山で行われる中国新人大会の出場権を得た。

- 男子団体 3位
- 男子個人 田原大樹 3位
- 女子個人 千端優心 優勝



女子バスケットボール
Meisei High School
SINCE 1951
島根県高等学校
選手権大会

11月3日(金)～11月5日(日)にかけて島根県高等学校選手権大会が松江市総合体育館で開催された。2回戦対矢上高校ではセツトカウント2-0で勝利。続く3回戦では松江商業とベスト8をかけて戦ったが、惜しくもセツトカウント0-2で敗れた。「昨年の成績には届かなかったものの3年生にとっては最後の大会であり、よく戦ってくれたと思う。後輩たちはこの経験を次に生かしてほしいと実感した。3年生お疲れさまでした。」と部顧問は選手たちに言葉をかけた。



軽音楽
Meisei High School
SINCE 1951
みとふるさと
まつりで演奏

11月3日、美都のひだまりパークみとくらドームに於いて、みとふるさとまつりが行われ、本校の軽音楽部が出演した。曲目は「水平線」「怪獣の花唄」の4曲を披露し、3年生は最後のステージとなった。



演奏する軽音楽部員たち

卓球・電卓
Meisei High School
SINCE 1951
島根県大会優勝

令和5年度島根県高等学校商業教育実技競技大会兼中国五県高等学校商業教育実技競技大会が島根県選が開催された。個人での出場であったが、個人総合で優勝、応用計算・読上算で1位を獲得し、日頃の成果が、発揮できた大会結果となった。この結果により、中国五県高等学校商業教育実技競技大会出場権を獲得した。中国大会は全国レベルの大会内容となるため、今後も引き続き目標をもち取り組んでいきたい。



個人総合優勝を含め大健闘した大畑暖佳さん

吹奏楽
Meisei High School
SINCE 1951
地元での演奏会を
実施

キャリアサポートでお世話になった種公民館館長様より演奏依頼をいただき、種地区にある高倉山八幡宮で演奏会を行った。風になりたい、故郷(楽器紹介)、ソロ2曲、演歌メドレーの5曲を演奏した。今回は初めて楽器紹介にも挑戦した。部員が掛け持ちで練習している楽器を含め6つの楽器紹介を行い、地域の方々は口ずさみながら演奏を聴いており、良い演奏会となった。今後も演奏依頼があれば、工夫を凝らした演奏会を行いたいと考えている。



1年生
遠足

待ちに待った初の遠足！

10月3日(火)に1年生は出雲大社への遠足を実施した。コロナも収まり、あまり多くのことを気にしなくて良くなったということが何よりも生徒たちは喜んでいるようバスでの移動中に感じることもできた。

途中で立ち寄った『きらら多岐』ではきれいな日本海の風景を堪能し、写真を撮って楽しんでいた。

出雲大社に着くと、初めて訪れる生徒も多かったようで、神楽殿の大きな『しめ縄』に感動していた。そして参拝後にはおみくじを引き、今後の自分の運勢を占って楽しんでいる生徒たちも大勢見受けられた。

参道では仲の良い友人らとグループになり、買い物やウインドーショッピングを楽しんでいた。出雲そばなどの郷土料理を昼食に食べる生徒や唐揚げ、キュウリの一本漬けを片手に食べ歩きで済ます生

徒たちもいた。

時間が差し迫ると最後にお土産を購入し、あっという間に楽しい遠足の時間は過ぎてしまった。

様々なものに触れ、また郊外学習ということで団体行動の大切さなど、多くのことを学んだ1年生は出雲の神様の力もいた



3年生
遠足

宮島遠足

10月3日(火)に宮島へ遠足に行った。バス3台で順調に移動し、フェリー乗り場に到着。天候に恵まれ、約15分の乗船中も心地よい風に吹かれながら、無事に宮島に着いた。平日ではあったが、外国人観光客も増えてきており、リニューアルされているお店も多い中、生徒たちも自由散策を楽しんだようだ。

3年生は、高校生活も残り数か月となり、この時期は進路決定に向けて各々忙しい時ではあったが、この遠足が、しばしの息抜きと高校生活の良き思い出になればと願う。



2年生
研修旅行

長崎研修旅行

10月4日から6日の2泊3日で、2年生119名で長崎の研修旅行に参加した。初日はハウステンボスで過ごした。きれいな建物やたくさんさんのアトラクションがあり、とても楽しい時間だったように思う。2日目は原爆記念館へ行き、清野さんの被爆体験講話を聴いた。とても印象的な話が多く、原爆の悲惨さを感じる事ができた。3日目は午前グラバー園、午後は鳥栖のアウトレットに行った。どこも魅力的な場所ばかりで、とても有意義な研修旅行だったように思う。

研修旅行全体を通じて感じたのは、物事や行事を楽しむためには、時間や服装などルールやマナーを守るという意識を持つことが大前提だと感じ

た。そして、それを皆で守れた時にはいつの間にか楽しい時間になっていくようにも感じた。研修旅行での楽しい思い出を思い出だけに終わらせずに、目の前のことを一生懸命する姿勢や、当たり前の事を当たり前にできる姿勢で過ごせるように今後も生活していきたいと思う。



2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



2年5組

セブ島 4泊5日 研修旅行

10月1日から10月5日にかけて、野球部の生徒1名、女子卓球部の生徒1名、教員2名の計4名でフィリピン・セブ島研修旅行を行った。この研修旅行は、留学推進はもとより、海外に興味を持つている生徒が、海外に一步踏み出すきっかけを提供することが真の目的である。研修旅行の内容は、①語学学校の視察・実際に授業を受講する。②セブ島観光。③水上スラム街にてボランティア活動④アイランドホッピング、の4つで

ある。水上スラム街でのボランティア活動では、1つの家庭に訪問させていただき、現状や心境を直接伺うことができた。「日本人の考え方と現地の方の考え方の違い」や「発想の豊かさ」を感じる事ができ、自分の生き方を改めてよくと思った。」と生徒たちは述べていた。

生徒2名は、ほぼ初対面で、話をすることがなく、「仲良くできるか不安」と出発時は口にしてしたが、研修中の生徒たちは、終始笑顔で、「刺激が強い・楽しい・日本と違いすぎる」とセブ島を満喫しており、益田に帰るころには家族のような仲の良さを見せていた。今後もこの研修を継続的に行い、海外で活躍できる人材の育成に力を入れていきたい。



水上スラム



水上スラムでのボランティア活動



無人島でBBQを食べる生徒たち



アイランドホッピングの様子

校内 弁論大会・ 芸術鑑賞

11月6日に校内弁論大会及び芸術鑑賞会が開催された。弁論大会では、3年3組の金光果乃さんの『変わる』が最優秀賞を飾った。芸術鑑賞では劇団アルファさんの『龍馬からの手紙』を鑑賞した。現代にタイムスリップした坂本龍馬と写真を撮ることにトラウマを持った一人の青年が出会うところから物語が始まる。日本を改革に導く龍馬の真直ぐでエネルギッシュな姿に影響され、青年はトラウマを克服していく物語となっている。

「今」を生きる生徒たちにとって、何かに一步踏み出す自信を与えてくれるような物語に生徒たちも釘付けになって鑑賞していた。



最優秀賞を獲得した金光果乃さん



「龍馬からの手紙」



劇団アルファの皆さん

福祉科だより

介護の日イベントに参加

10月22日、益田市総合福祉センターにて開催された、介護の日イベントに参加した。オーブンイベントとして、和田咲さん(西郷南中)梅田優花さん(東陽中)長尾杏里さん(高津中)が中国大会で実践した競技内容を披露した。

またトークセッションにも参加し、3年生の西元雅さん(浜三中)が、高校生として福祉の学びの楽しさや、介護のやりがいを感じることなどを伝えた。

イベントには、福祉車両や最新の介護用品なども展示されており、生徒たちの刺激にもなっていた。

福祉科の取り組みが地域の方々に知っていただく良い機会となった。



介護の日イベントに参加した福祉科の生徒たち

第10回全国高校生介護技術コンテストに出場！

令和5年10月29日(日)に福井県立奥越明成高等学校にて、第10回全国高校生介護技術コンテストが開催された。中国地区代表として、福祉科3年和田咲(西郷南中)長尾杏里(高津中)梅田優花(東陽中)が選手として出場した。本大会に出場するのは初めてで緊張もあったが、今まで取り組んできたことの自信と勇気を持って臨んだ。

大会の約1ヶ月前に事前課題として、「栃木明子さん」という利用者の方についての情報が提示され、具体的な支援内容については当日課題で示される。当日の25分間で課題検討を行い、実践するというものである。

各地区の代表校12校が出場し、介護福祉を学ぶ高校生のハイレベルな介護力が発揮されるコンテストであった。

「栃木さん」のことを第一に考え、根拠に基づいた創造的な介護を実践した。

結果は、奨励賞であったが、更なる可能性を秘めたものとなった。「このコンテストを通じて、多くの方々に支えていただき、大変ありがとうございました。これからも、福祉科で学ぶ生徒たちは、専門性と魅力兼ね備えた福祉人を目指し、より一層励んで参ります。」と福祉科担当教員が語った。



奨励賞を獲得した生徒たち

通信制課程ニュース

T S U S H I N N E W S

SHIP代表者会議を本校で開催！

明誠高等学校の通信制課程は、本校を含め、全国に37か所の拠点があり、その内の33か所がSHIPと呼ばれる学習サポート施設である。SHIPでは、生活面・学習面など様々なサポートを受けることができ、また各SHIPごとに特色ある教育実践を行っている。当校では年に数回、各SHIPの代表者が一か所に集結し、現地会議(不参加者はオンライン参加)を開催している。全国各地で開催される本会議だが、今回は10月21日、本校(益田)にて代表者会議が開催された。会議では、実務面の共有の他にも、永島理事長による通信制設置に対する想いの共有や通信制課程全体の現状と課題、学校紹介など充実した内容となった。また会議外においても、益田市で実施されている行政と連携した教育実践紹介等の各種勉強会や意見交換会、本校・市内見学など、参加者にとって実り多い回となった。このように、各拠点の質的向上を目指し、定期的にSHIP代表者会議を行っている。



贈呈式

ドロップスプレッダーは、種子や肥料、目土を散布するもので、校庭の天然芝生化学業に対して、サン電子工業様の地域貢献事業として2台が寄贈された。10月13日、始業式に先立ち贈呈式が行われ、取締役事業部長の高橋一徳氏から岩本校長へ目録が渡された。岩本校長は、長年地域貢献事業を展開するサン電子工業様の会社方針に敬意を表され、ご厚意、ご期待に對して、生徒達の各々の目標が達成できるように教育活動に邁進したいと謝辞を述べた。

ドロップスプレッダー 贈呈式



寄贈品
(手話テキスト・手話辞典)



贈呈式

11月15日、益田西ロータリークラブ会長岡崎寛氏より、「手話テキスト・手話辞典」が寄贈された。寄贈品を十分に活用し、生徒の手話に対する知見を深めることを目指していく。

手話テキスト・ 手話辞典 贈呈式

Mチル完成

この夏、本校に、職員室と併設した新たな交流スペース「Mチル」が完成した。Mチルは、生徒と教員の交流スペースである。その用途は様々で、進路指導・学習指導・意見交換など多岐にわたっている。チル・chillは「安らげる・ゆったりする」という意味のネイティブのスラングで、この空間が、生徒・教職員にとってより良い教育スペースになることを期待している。この他、夏のリニューアル工事では、通信制職員室・保健室・進路指導室の移転、相談室の拡充工事を行った。



Mチル



第3相談室



第2相談室



第1相談室



保健室



進路指導室



通信制職員室

